

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所港湾内>

(1/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
港湾内(南防波堤付近)	コノシロ(筋肉)No.1	2022/11/7	< 2.4E+00	< 2.9E+00	ND
港湾内(南防波堤付近)	コノシロ(筋肉)No.2	2022/11/11	< 2.2E+00	2.3E+00	2.3E+00
港湾内(南防波堤付近)	コノシロ(筋肉)No.3	2022/11/21	< 2.7E+00	3.7E+00	3.7E+00
港湾内(南防波堤付近)	シロザケ(筋肉)No.1	2022/11/4	< 2.2E+00	< 2.2E+00	ND
港湾内(北防波堤付近)	アカメバル(筋肉)No.1	2022/11/16	< 2.2E+00	1.6E+01	1.6E+01
港湾内(北防波堤付近)	ケムシカジカ(筋肉)No.1	2022/11/4	< 1.8E+00	2.8E+00	2.8E+00
港湾内(北防波堤付近)	ケムシカジカ(筋肉)No.2	2022/11/7	< 1.6E+00	< 2.0E+00	ND
港湾内(北防波堤付近)	ケムシカジカ(筋肉)No.3	2022/11/11	< 2.2E+00	5.2E+00	5.2E+00
港湾内(北防波堤付近)	ケムシカジカ(筋肉)No.4	2022/11/21	< 2.1E+00	< 2.1E+00	ND
港湾内(北防波堤付近)	ケムシカジカ(筋肉)No.5	2022/11/25	< 2.1E+00	3.7E+00	3.7E+00

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
- (例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31， $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1， $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所港湾内>

(2/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
港湾内(北防波堤付近)	シロメバル(筋肉)No.1	2022/11/2	< 2.0E+00	1.7E+01	1.7E+01
港湾内(北防波堤付近)	シロメバル(筋肉)No.2	2022/11/2	< 2.5E+00	2.3E+01	2.3E+01
港湾内(北防波堤付近)	シロメバル(筋肉)No.3	2022/11/4	< 3.1E+00	1.4E+01	1.4E+01
港湾内(北防波堤付近)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/11/7	< 1.8E+00	3.0E+00	3.0E+00
港湾内(港湾口付近)	コモンカスベ(筋肉)No.1	2022/11/8	< 2.4E+00	8.5E+00	8.5E+00
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/11/1	< 2.0E+00	1.1E+01	1.1E+01
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/11/1	2.4E+00	8.3E+01	8.5E+01
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.3	2022/11/11	< 2.1E+00	6.7E+00	6.7E+00
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.4	2022/11/22	< 2.6E+00	7.9E+01	7.9E+01
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.5	2022/11/28	< 2.8E+00	3.5E+00	3.5E+00

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所港湾内>

(3/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.6	2022/11/28	< 2.2E+00	3.8E+01	3.8E+01
港湾内(港湾口付近)	ヒラメ(筋肉)No.7	2022/11/28	< 2.2E+00	1.0E+01	1.0E+01
港湾内(港湾口付近)	マコガレイ(筋肉)No.1	2022/11/15	< 2.2E+00	8.7E+00	8.7E+00
港湾内(港湾口付近)	マコガレイ(筋肉)No.2	2022/11/22	< 2.3E+00	1.8E+01	1.8E+01
港湾内(港湾口付近)	マコガレイ(筋肉)No.3	2022/11/28	< 1.9E+00	< 2.4E+00	ND
港湾内(東波除堤北側)	クサウオ(筋肉)No.1	2022/11/16	< 2.0E+00	3.7E+00	3.7E+00
港湾内(東波除堤北側)	ケムシカジカ(筋肉)No.1	2022/11/30	< 2.2E+00	< 2.0E+00	ND
港湾内(東波除堤北側)	コノシロ(筋肉)No.1	2022/11/4	< 2.2E+00	4.6E+00	4.6E+00
港湾内(東波除堤北側)	コノシロ(筋肉)No.2	2022/11/25	< 2.4E+00	2.4E+00	2.4E+00
港湾内(東波除堤北側)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/11/2	< 2.0E+00	6.0E+00	6.0E+00

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・ $〇.〇E\pm〇$ とは、 $〇.〇\times 10^{\pm〇}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31，3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1，3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所港湾内>

(4/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
港湾内(東波除堤北側)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/11/18	< 2.2E+00	4.0E+00	4.0E+00
港湾内(東波除堤北側)	ヒラメ(筋肉)No.3	2022/11/22	< 2.4E+00	5.5E+00	5.5E+00
港湾内(東波除堤北側)	ヒラメ(筋肉)No.4	2022/11/30	< 2.2E+00	3.9E+00	3.9E+00
港湾内(東波除堤北側)	マアナゴ(筋肉)No.1	2022/11/10	< 2.2E+00	2.2E+01	2.2E+01
港湾内(東波除堤北側)	マコガレイ(筋肉)No.1	2022/11/16	< 3.1E+00	5.5E+01	5.5E+01
港湾内(1~4号取水路開渠)	クロアナゴ(筋肉)No.1	2022/11/25	1.1E+01	3.6E+02	3.7E+02

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。